

横尾議員 本議会は、平成年号最後の議会となりました。そして福井町政を締めくくる議会でもあります。私としては課題解決まで頑張っていたいただきたいと思いましたが、今季で辞職されることは残念に思います。先の12月議会での「最後の所信」の中で町長出馬から辞職に至るまでの理由を述べられていますので、今回の通告では福井町政の総括をと題して、2期8年の間に取り組みられてきた、さまざまな施策についての検証を求めるものであります。具体的かつ簡潔に、また、数値で表せるものは数値でお示してください。

枅富議長 福井町長。

(福井町長 登壇)

福井町長 私は、今限りで辞任いたしますので、私的なことを述べる必要はないと思ひ、所信でも何も申し上げませんでした。ご質問ですのでできる限り客観的にお答えしたいと思います。まず1期目は、牟岐町再生とその一つのメニューとして鬼ヶ岩屋温泉の営業継続を、また牟岐バイパスの工事の推進を、さらに東日本大震災の直後でしたので地震津波対策に取り組みました。次に2期目は、1期目の継続事業として平成26年度から国により進められることとなった地方創生と、ごみ焼却施設の改築、そして高台移転した病院の跡地活用、さらには役場移転が大きな課題となりました。これらを大きく、防災・地方創生・牟岐バイパス・ごみ焼却場の4つに分けて検証してみたいと思ひます。まず、一つ目の防災ですが、当時、既に計画が進められていたことから、小学校と保育園、給食センターはスムーズに設計施工・そして高台移転ができました。また、県立海部病院も、町が土地造成するなど町費負担はしているものの、今後の運営は全て県に任せられる、地震津波に強い災害時の拠点病院ができたということで、防災上は大きな成果であると考えています。しかしながら、最終的に役場の防災対策までには至らなかったということがマイナス材料かと思ひます。次に二つ目の地方創生ですが、当初より、地方創生は、交流人口の増加と一次産業の再生と考え、いろいろな取り組みを重ねてきました。温泉は、何とか営業を再開したものの結局は町民の皆さんにアンケート調査をし、赤字運営はまかりならないとのことで1年程で営業を停止しました。跡地も何とか民営化し再活用に取り組みましたが実現せず、現在は、施設の民間への払い下げを検討している状況です。また、観光振興では、議員各位のご理解も得、観光拠点を創るため、出羽島の重要伝統的建造物群の選定と、その後の施設改修に取り組んでい

ます。重伝建に選定された他の市町村のこれまでの状況から、改修がある程度進めば爆発的に観光客が増えると大いに期待しているところです。しかしながら、本来、牟岐町観光振興の中心的役割を果たすべき観光協会が、自立も法人化もしておらず、事務作業は町の職員が行い、あらゆるイベントの運営も、ボランティア団体や商工会、あるいは、役場職員が対応しなければならない状況にあることから、現在、観光協会の自立と法人化に向け、取り組みを進めているところです。また、かつては牟岐町の産業の中核であった漁業が毎年のように漁獲高が落ち、農業も鳥獣害等で生産量も減少している状況は変わりませんが、一昨年より、『牟岐の農業を守る会』が結成され、若者が中心となり、農業の再生に取り組むを始めてくれています。牟岐町が持続可能な町として継続していくためには、これら産業の振興が欠かせないと考えています。そして、私が前回の選挙公約にも掲げました、旧海部病院の跡地活用ですが、『防災センターを高台に設置し、他の役場機能は旧海部病院に移転する』という私の考えは実現せず、現時点では空き家になっています。徳島県には、牟岐町の要望はお伝えしていますが、今後、県有施設として利用されることは非常に難しいと考えています。次に三つ目の牟岐バイパスの推進についてですが、これには4つの課題がありました。一番目の課題は、地権者の何名かが反対していたこと。これは、私が町長になり何度も説得を行い解決しました。二番目の課題は、牟岐町簡易水道の水源地周辺の工事が水質汚濁の恐れからボーリング調査もできなかったこと。これは、現時点では、下流部分のボーリング調査を行い、今後の工法を決定する作業が国の方で進められていると思います。三番目の課題は、関地区の排水が悪く、バイパスができることにより更に排水が悪くなるとのことで、地区住民が排水改良を要望していること。これは、地区排水の調査設計は行ったものの内水面の排水工事は町単独事業となることから、財政的な理由により、現時点では施工に至っていません。そして、四番目の課題は、残土処理場の確保ですが、これは議員の皆さんもご存じのとおり、議会で内妻地区を選定されましたが、国定公園区域内であることや環境アセスメント調査が必要なことから、許可に1年近い時間を要するとのことで、国の要望により、再度、議会が選定したかんば地区で調査を進めていると認識しています。ただ、現在、バイパス残土は15万 m^3 ほどしかなく、牟岐川等の浚渫砂利と併せてもなかなか20万 m^3 までいかないと思いますので、かんば地区の処分場が稼働しますと、内妻で処分する残土が不足し、実施済みの内妻の調査設計費用を回収することが困難になることが予想されます。したがって、この費用の回収が今後の課題になると考えています。最後にごみ焼却施設の改築についてですが、これはこれまでも度々議論を重ねていますが、牟岐町にとり、どこでどのような施設に改築をするのが最も町民の皆さんのためになるのか改めて議論する必要があると思います。他町で改築するとなれば、用地購入から土地造成、進入路の整備等の費用が別途かかりますし、一般廃棄物のごみ焼却場ですから、環境アセスと県の許可が必要となり、それ相当の時間と費用も要します。耐用年数を大幅に超えている現在、改築に要する時間もできるだけ短くする必要があります。今

後、改築が完了するまで、ごみ焼却場が稼働可能できることを祈りたいと思います。以上、横尾議員ご質問の答えとなったかどうか分かりませんが、2期8年の検証とします。

杣富議長 横尾議員。

横尾議員 ありがとうございました。今、町長は4つの大きな項目、防災、地方創生、牟岐バイパス、ごみ施設の4つの件について答弁されましたが、難しいと思いますが、この4つの件について、それぞれ点数を付けていただきたいと思います。100点満点中で、それぞれ何点だと検証されるでしょうか。お願いします。

杣富議長 福井町長。

(福井町長 登壇)

福井町長 点数を付けるというのは、私が取り組んだ点数という意味でしょうか。それとも事業進捗としての点数ですか。

横尾議員 総合的な点数。

福井町長 防災は。

横尾議員 できれば、福井町長ならではの施策として実現できた点数というような捉え方でお願いします。

福井町長 非常に点数を付けにくいということは、最初から意識していますので、点数を付ける気もなかったものですから、全く今すぐに点数を付けるというのは難

しいのですが、感覚的に言えば、防災は70点ぐらいかと思えますけど、地方創生は10点か20点、牟岐バイパスも殆ど進んでいませんので、10点ぐらいかと思えます。それとごみ焼却施設ですか。これは全く進んでいませんので0点ですね。以上です。

枅富議長 横尾議員。

横尾議員 非常に難しい質問にお答えいただきまして、ありがとうございます。なかなか自己採点に厳しいという思いでいます。この残った課題を次の誰が町長になるか分かりませんが、また、課題として取り組んでいくものであろうと思えますが、最後にあれこれは申しません。福井町政、これまでの8年間、どうもご苦労さまでした。以上で質問を終わります。